

平成25年度 第1回 機能性材料・製造プロセス研究会

～～～温泉とともに栄える“湯けむり発電”を目指して！～～～

主催 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
共催 日本大学工学部

今回の研究会では、地熱、地中熱の再生可能エネルギー開発への応用をテーマに、昨年度に引き続き、独立行政法人産業技術総合研究所から講師をお招きし、その後の研究開発の進展を含めてより実用的な内容で、地中熱利用とその展望や圏域企業に求められる役割等について御講演をいただきます。

どなたでも聴講できますので、皆様是非お誘いのうえ御参加ください。

記

☆日 時 平成25年 9月 13日 (金) 13:30～16:00

☆場 所 ビッグパレットふくしま3階 中会議室 A (郡山市南二丁目 52 番地)

☆参加費 無 料

(参加申込：裏面の参加申込書にご記入の上、FAX又はメールにて送信ください。)

☆内 容

コーディネーター

日本大学工学部 生命応用化学科 教授 理学博士 西出 利一 氏

演 題1 『地熱エネルギー利用のススメ』

講師：(独) 産業技術総合研究所 地圏環境評価研究グループ

グループ長 安川 香澄 氏

≪概要≫

- (1) 地熱発電の特徴 (安定電源、低い二酸化炭素排出量、日本に豊富な再生可能エネルギー)
- (2) 地熱発電のしくみ (地上の発電設備、地下の地熱貯留層)
- (3) 技術的課題 (地下探査、温泉や環境との共生など)

さらに将来の地熱エネルギーとして期待されているEGS (地熱増産システム) を紹介し、また、熱エネルギーを直接温熱として使う地熱直接利用、地熱資源を観光資源として用いるエコツアーの可能性にも触れます。

演 題2 『使おう！地中熱利用システム』

講師：(独) 産業技術総合研究所 地下水研究グループ 主任研究員 内田 洋平 氏

≪概要≫

地下 20mから 100m程度までの地中の温度は、外気温の影響を受けず年間を通してほぼ一定を保っており、夏は外気より冷たく、冬は外気より暖かいという外気温との温度差が生じます。この温度差を利用し、地中熱をヒートポンプの熱源として利用するものを地中熱利用システムと呼び、冷暖房などに活用することにより、消費電力の大幅な削減、二酸化炭素の排出量削減、ヒートアイランド現象の緩和等への貢献が期待されています。本講演では、日本の地質・地下水環境をうまく利用した地中熱システムの紹介や、福島県における地域振興策としての可能性について紹介します。

FAX: 024 (947) 4475

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構 行

申込期限 9月9日(月)

平成25年度第1回
機能性材料・製造プロセス研究会 参加申込書

企業・ 団体等名			
所在地 (住所)	〒		
電話		FAX	
E-Mail	テクノ・ニューコメメールマガジンの配信について <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 購読中		

No.	部署名	役職	氏名
1			
2			
3			
4			
5			

〈個人情報の取り扱いについて〉

- ◎ お客様から頂きました内容の個人情報は、今後当財団からのサービス情報等のご案内等のみ利用させて頂き、他の目的には利用いたしません。また、第三者には、開示いたしません。
- ◎ お客様から頂きました個人情報に関して、今後、お客様からのご要望で、内容確認、修正、更新、撤回、削除の必要性が生じた場合は、お客様ご本人からのご連絡を頂くことにより、適宜対応させて頂きます。

【事務局/お問い合わせ先】

(公財) 郡山地域テクノポリス推進機構

郡山市南二丁目 52 番地 ビッグパレットふくしま3F

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475

E-mail techno@nm.net6.or.jp